

八鹿夏まつり 好天に恵まれ盛況に開催

平成23年度八鹿夏まつりは、昨年に続き好天気の中で7月16日・17日に開催され3万4千人の人出で賑わいました。

7月16日(土)の10時には、名物「造りもの大会」がスタート。同時にスタンプラリーもスタートしました。今年は9区が出展しました。いずれも今年の話題となったことや建物で見学する人たちの話題となっていました。また造りもの審査員に、男女協同参画センターから女性と八鹿高校・但馬農高から高校生が初めて参加をしていただきました。

17日(日)午後1時に祭りの開幕を告げるパレードが諏訪神社下を出発し市役所まで行進しました。汗を拭き拭き行進する人たちに沿道の人から大きな拍手が送られていました。

パレードに続いてふれあい倶楽部前から八鹿おどりが出発しました。約120名もの踊り子はスピーカーから流れる八鹿音頭に合わせながら市役所広場まで踊りを披露しました。可愛い子どもの踊りにはひととき大きな拍手やカメラのシャッターが切られていました。

文化ホールでは、パレードをした八鹿高校、八鹿青溪中学校吹奏楽部と初参加の南但吹奏楽団の演奏、ラビットクラブや但馬よさこい連「結」の踊り、最後に養父市音頭が浜千代子さんの歌で日本舞踊島田流の皆さんで披露されました。

夜は、約70店の夜店が並び、浴衣を着た人たちなどで通りが埋め尽くされるなか、8時から豪華 花火大会が始まりました。

どこの場所からでも見えるようにと打ち上げ花火を中心に構成されています。夜空を彩る花火に歓声が沸いていました。最終シリーズのお祝い花火では、すっかり八鹿夏まつりの名物となった「還暦祝い花火」と「古希祝い花火」に加え、お子さんやお孫さんの誕生祝いや喜寿、米寿などの年祝い、金婚式祝いなどの祝い花火に加え、今年は百賀や101歳のお祝い花火が打ち上げられました。

翌18日(月)には、PTCA事業として八鹿高等学校、但馬農業高等学校の生徒の皆さん、金融機関、但馬500人委員会八鹿支部、企業の皆さん約450名の皆さんにより花火のかすをはじめ市内の夏まつりのゴミがきれいに清掃されました。ありがとうございました。

平成23年度 八鹿夏まつり造り物審査結果 平成23年7月16日

ダイヤ賞	栄町区	英国王室 婚礼馬車
県知事賞	京口区	国指定重要文化財 名草神社本殿
神戸新聞社賞	天子区	松本城
県芸術文化協会賞	下町区	東京スカイツリー
養父市長賞	仲町区	明延 一円電車
養父市議会賞	諏訪町区	東京スカイツリー
養父市教育長賞	宮町区	Doctor-heli ドクターヘリ
養父市商工会賞	大森区	クリスタル・スカイツリー
養父市観光協会八鹿支部賞	新町区	ワンピース(がんばろう日本)
八鹿文化協会賞		
八鹿区長会長賞		
スタンプラリー賞	大森区	クリスタル・スカイツリー
話題賞	栄町区	英国王室 婚礼馬車
ユーマア賞	新町区	ワンピース(がんばろう日本)



ダイヤ賞 栄町区
英国王室 婚礼馬車



県芸術文化協会賞
京口区 国指定重要文化財 名草神社本



養父市長賞 天子区 松本城



造りもの審査委員として参加していただいた但馬農業高等学校と八鹿高等学校の生徒の皆さん。

高校生が造りもの審査に参加

100年を超える歴史を持つ八鹿夏まつり名物の「造りもの大会」

この審査員に八鹿高校と但馬農高の生徒4名が参加していただきました。

高校生の参加は、造りもの100年の歴史の中で初めてのことです。

高校生審査員の皆さんは、汗をふきふき展示場をまわり真剣に審査をしました。

感想を聞いてみると「造りものがこんなに時間をかけて多くの人たちによって作られていることを初めて知りました。地域の行事に参加させてもらってとっても楽しかったです」と明るい笑顔で話していました。

夏まつり写真ルポ



市民の皆さま ご協力ありがとうございました

「八鹿夏まつりが終われば、但馬に夏が来る」と言われる八鹿夏まつりは、起源とされる諏訪神社の祭礼から数えて100有余年の歴史を持つ夏まつりです。

そして市民の皆さまの浄財を主な財源としてこの祭りを支えてきていただきました。

しかしながら全国的な経済基盤の悪化に加え東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、夏まつりを支える財政は危機的な状態となり、花火の縮小も考えざるを得ない状況からスタートをしました。

八鹿夏まつりには、市内、近隣の方のみならず、遠くは大阪、和歌山、岡山、神戸などなど本当に遠方の方も訪れていただいています。

このような夏まつりを楽しみにしていただいている人たちをはじめ、私たちの子どもたちから、楽しい夏まつりの思い出を奪い取ってはいけない。私たちが今でも小さいころの夏まつりが思い出に残るように、今の子どもたちに楽しい思い出を与えてやりたい。こんな思いで実行委員会を立ち上げ、委員の皆さまには手弁当の奉仕で頑張っていただき、市民の皆さまには、熱い心で応えていただきました。

幸い今年は予定どおり八鹿夏まつりを開催させていただくことができました。ちょっとオーバな言い方ですが、「市民による、市民のための、市民の夏まつり」になりつつあるのではないかと思います。

市民の皆さまのご理解ご協力に心より厚く御礼申し上げます。

今年は、八鹿地区自治協議会が発足して、初めての大イベントでした。例年なら、各区で回覧により感謝をお伝えするのですが、今年は、自治協議会が発行する「ふるさと通信」で感謝をお伝えさせていただきます。

今後とも八鹿の、養父市のまちづくりにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます

八鹿夏まつり実行委員会
会長 小橋 忠宏
(八鹿地区自治協議会会長)

【主な行事】

8月 1日(月)	八鹿夏まつり正副部長会議	ふれあい倶楽部
6日(土)	土曜喫茶	〃
8日(月)	立誠舎研修会	立 誠 舎
〃	八鹿地区体育委員会	公民館大会議室
14日(日)	お盆	
15日(月)	〃	
15日(月)	灯ろうフェスタ	八木川流域
18日(木)	第5回夏まつり実行委員会	八鹿公民館
23日(火)	地藏盆	

事務局です

八鹿夏まつりが終わりました。毎年雨の心配から夏まつりが始まりますが、昨年と今年は、まったく雨の心配なしの好天気。「俺は晴れ男だー」と急に態度でかくなった男もいました。

ここでちょっと雑学です。

- ・今年の屋台の出店は67店だった。
- ・花火はキッチリと1700発が打ち上げられている。
(事前に兵庫県民局が一個一個数を調べます)
- ・街中のどこでもでも見れるように打ち上げ花火のみだ。
(仕掛けやスターマインは低い花火なので見れない場所が多い)
- ・お祝い花火の始まりを知らせる♡型の花火が上がった。

ご存知でしたか？ 知っているようで知らなかった八鹿夏まつりの雑学でした。